



2014～2015年度のRIテーマ
「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)
R.I会長/ゲイリーC.K.ホァン

2014～2015年度 第2740地区スローガン
『地域に輝くロータリー』
ガバナー 宮崎清彰



2014～2015年度
諫早西ロータリークラブ標語



『心の火を燃やそう』

第1411例会 2014年11月5日例会記録 NO.16 天候 晴れ

【本日】会員数 39名 出席 33名 欠席 6名 出席率 84.61% ビジター 1名
【前々回】会員数 39名 出席 36名 欠席 3名 MC 3名 出席率 92.10%

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長/辻本善樹 幹事/木村暢義 創立日/昭和60年2月20日 認証日/昭和60年3月5日
例会場/平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL(0957)24-3907
事務局/諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL(0957)22-3323
会報委員/山本健志・中村正美・宇土久・千住良治・原田典範

HP/http://isahaya-west.com E-mail/info@isahaya-west.com

会長の時間

「ノーベル平和賞マララさんのスピーチ」

今年のノーベル平和賞に決まったパキスタン出身の17歳のマララ・ユスフザイさんのスピーチを紹介します。

「価値あるノーベル平和賞受賞者に選ばれて名誉に思います。この賞を受ける初めてのパキスタン人、初めての若い女性、若者であることを誇りに思います。

インドのカイラシュ・サティヤルティさんとともに受賞できて、本当に幸せです。子どもの権利のために、児童虐待や虐待と闘う素晴らしい仕事に心を動かされます。彼とこの賞を分かち合うことができ、光栄に思います。私たちは二人ともがノーベル平和賞の受賞者です。一人はパキスタン、もう一人はインドの出身。一人はヒンドゥー教、もう一人はイスラム教をあつく信仰しています。これはパキスタンとインド、そして異なる宗教の間にいる人々に愛のメッセージを与えます。そして私たちは互いに支持し合っています。

まず初めに私の家族、大切な父や母の愛情や支援に感謝したいと思います。父がいつも言うように、何か特別なことをしてくれたわけではありませんが、父がしたことは私の翼を切らないということです。ありがたいことに父は翼を切るのではなく、羽ばたかせ、目標を達成させてくれました。

女性は母親や姉妹、そして妻であるだけではありません。アイデンティティーを持ち、男の子と同じだけの権利を持っているのだと評価されるべきです。

受賞したことでおしまいではありません。私が始めた活動の到達点ではなく、始まりに過ぎないと思います。すべての子どもに学校へ行ってほしい。いまだに5700万人もの子どもが教育を受けられず、小学校にすら通っていません。すべての子どもたちに学校へ行って、教育を受けられるようになってほしい。

私自身、パキスタンのスワート渓谷で同じ境遇にいました。ご存じの通り、そこはタリバーンの支配下にあり、学校に行くことが許されていませんでした。私には二つの選択肢がありました。一つは声を上げずに、殺されるのを待つこと。もう一つは声を上げ、そして殺されること。私は二つ目を選びました。学校に戻りたいがために、私は声を上げる必要があったのです。自分もまた、教育を受けられなかった女の子の一人でした。学びたかった。勉強して、将来の夢を実現したかった。普通の子どもと同じように、夢がありました。あの頃、私は医者になりたいと思っていました。

きっと13、14歳で結婚するような人生を送るんだろうなって。学校に行かず、本当にやりたい仕事ができない。それならば、と声を上げる決心をしました。

自分のことを伝えることで、世界中の子どもたちに、自分たちの権利のために立ち上がろうと呼びかけたかった。他人が行動するのを待ってはいけな。子どもたちの声はずっと力強い。子どもは弱者かもしれない。でも、だれも何も言わない時に声を上げれば、みんなの耳が届くほど、大きく響かせることができるのです。だから世界中の子どもたちは言いたい。自分たちの権利の

ために立ち上がりましょう。

私がいただいたこのノーベル平和賞ですが、ノーベル賞委員会が私にだけ与えたわけではないはず。伝えるべきことがありながら、声を上げられない子どもたち、すべてに授けられた賞なのです。良質な教育を受ける権利や児童労働から逃れ、人身売買の被害にあわないですむ権利。そして、幸せな人生を過ごす権利があるのです。だから私はこれらの子どもたちに寄り添います。今回の賞はまさに彼らのためのもの。子どもたちの勇気に与えてくれたのです。

これまでやってきた活動に対するご褒美ではありません。これからも継続できるようにと私を勇気づけるための賞なのでしょう。自らを信じ、自分がひとりぼっちではなく、数百、数千そして数百万もが支えてくれると知るための。

いま一度、みなさまにお礼を申し上げます。

幹事報告

【例会日時変更】

※諫早多良見ロータリークラブ

日時：平成26年11月11日(火) → 15日(土)

場所：諫早文化会館

※地区大会へ振替のため

【お知らせ】

※国際ロータリー日本事務局より

11月ロータリーレート 1ドル=106円

※ガバナー事務所より

①「ジャパン・ロータリーデーⅡ in 東京」開催のご案内

日時：平成27年2月4日(水)

場所：ホテル グランパシフィック LE DAIBA

登録料：17,000円

登録締切：平成26年11月28日(金)

②「ガバナーノミニ宣言」

所属クラブ：長崎北ロータリークラブ

氏名：崎永 剛 君

③「バギオだより 11月号」

●誕生&結婚祝い

<11月誕生日会員>

江嶋 利満 君

S 42年11月9日



＜11月結婚記念日会員＞

草野 恵介 君 S 55年 11月 5日
 日高 正朗 君 S 47年 11月 9日
 千住 良治 君 H 11年 11月 11日
 福田 和幸 君 S 44年 11月 14日
 荒木 公義 君 S 50年 11月 22日



委員会報告・その他

(省略)

HPにてご覧ください。



スマイルボックス



辻本 善樹君：先日の留学生との交流会では吉田国際奉仕委員長および委員のみなさま、そして協力していただいた会員のみなさまお疲れさまでした。また、留学生のリュウ・ダイイ君の卓話を楽しみにしています。

木村 暢義君：吉田さんおつかれ様でした。盛大で生徒たちもよろこんでおりました。平さんの口パクおもしろかったです。又、リュウ・ダイイ君ようこそ。

立野 守君：先日留学生交流会、雨の中大変お疲れさまでした。森さん、原田さんお世話になりました。

荒木 公義君：良き時代の昭和 50年 11月 22日が結婚記念日です。数えてみますと 40年になるようです。頑張り堪えております。(おたがいに)

福田 和幸君：7月に再入会させていただいたのに又2ヶ月間欠席しました。申し訳ありません。11月からお世話になります。

日高 正朗君：留学生との国際交流、おつかれ様でした。楽しい夜でしたが、来年の事を思うとプレッシャーがかかりました。

吉次 良治君：留学生を囲んでの国際交流会、吉田委員長始め国際奉仕委員会の皆さまお疲れ様でした。留学生より辻本会長、木村幹事2人がはしゃぎ、喜んでいました。

宮本 峻光君：長崎がんばらんば国体・大会 2014も無事終了しました。来諫の皆さんに十分なおもてなしはできたかなと思います。選手達も十分頑張ってくれました。万々オ

です。

永井 栄次君：皆さん、お久しぶりです。国体も終わってホッとしてます。タクシーもおかげで大変忙しかったです。儲かりましたよ。そして、記念すべき開会式には4人目の孫も生まれました。ハッピーです。

野中 英己君：先日、留学生交流会を欠席しまして申し訳ありませんでした。雨の中皆様が大切に働き楽しい交流会との事で良かったです。ごくろう様でした。

吉田健一郎君：留学生の集いにおきましては、会員の協力ありがとうございました。お陰様をもちまして、盛況に終ることができました。

日高 正朗君：結婚祝、ありがとうございます。忘れてました。

秀山 達也君：お世話になります。

江嶋 利満君：誕生日ありがとうございます。1年で早いですね。

草野 恵介君：結婚記念をすっかり忘れてました。妻も忘れてると思います。皆様に祝ってもらえて幸せです。

本日の合計(11/5)	累計額
¥55,000	¥617,540

クラブフォーラム

・米山奨学生卓話 (リュウ・ダイイ君)



中国の民族やそれぞれの衣装等の紹介や日本の文化にふれて感じたこと等、パワーポイントを用いて発表していただきました。リュウ・ダイイ君の日常生活で関心がある事や見ている視点は私達、日本人としてとても面白く興味深いものがありました。ありがとうございました。

